

2023.12.25 (令和5年) 編集と発行 / 長野県東筑摩郡麻績村公民館
TEL 0263-67-2240



令和5年 麻績村重大ニュース

麻績村体育館照明 LED 化完了 (3月)

村民体育祭に代わり「ふれすぽ」始動 (6月)

松本山雅のホームタウンに (7月)

村民運動会五年ぶりに実施 (10月)

保小中合同音楽会開催 (10月)

住民票などのコンビニ交付始まる (12月)

令和五年度 麻績村重大ニュース

令和五年が終わり、新たな年を迎えました。新型コロナウイルス感染症も位置付けが変わり、人々の動きもコロナ禍の頃に比べて活発になってきたように思います。

振り返ると昨年は令和四年に引き続きロシア・ウクライナ情勢や新たにイスラエル・ハマス武力衝突など依然として世界では不安定な情勢が続いています。

また一方では、大谷翔平選手の活躍、ワールドベースボールクラシックでの侍ジャパンの優勝など明るいニュースもありました。

令和六年が多くの人にとって幸せ多き年となりますように。今月号では麻績村での令和五年重大ニュースを掲載します。

① 麻績村体育館照明 LED化完了

令和四年十二月から令和五年三月にかけて体育館照明のLED化工事を行い、アリーナ及び観客席上部の照明をLED照明へ交換しました。照明交換に伴って落下の危険性のある格子天井の撤去も行い、安全に利用できる施設として生まれ変わりました。

② 村民体育祭に代わり「ふれすぽ」開始

「ふれすぽ」は、今年度よ



▲明るく省エネになりました

り村民体育祭に代わり、継続的なスポーツ機会の提供を目的とした取り組みとして、スポーツ推進委員の発案により六月より六回実施しました。

体育館武道場に園児・児童向けのサーキットスペース、アリーナ半面にバドミントン・バスケットボール・フットサルなどができるフリースペースを設け、もう半面ではニュースポーツなどのメインスポーツを実施する場所として、普段体育館に足を運ぶことの無い方でも気軽にスポーツを楽しんでほしいとの思いで開始しました。

来年度も継続して、スポーツ機会の提供に取り組ん



▲第5回フラバールバレー

でいきます。

③ 松本山雅のホームタウンに

プロスポーツクラブなどの地域で応援する「ホームタウン」制度。麻績村が松本山雅FCの十一番目のホームタウンとして承認され七月十四日に地域交流センターで調印式が行われました。

また、七月十六日には、松本山雅FCの本拠地であるサンプロアルウインのホームゲームで、塚原村長がホームタウン加入のあいさつを行いました。

十月十五日には、ホームタウンデーがあり、多くのサッカーファンに麻績村を



▲みんな一緒に One Soul!

知っていただく機会を持つことができました。

④ 村民運動会 五年ぶりに実施

十月二十二日麻績村総合運動場において、五年ぶりに村民運動会が行われ、秋晴れの青空のもとおよそ三〇〇人が楽しく身体を動かしました。

ホームタウン契約を結んだ松本山雅から当日は片山真人さんとガンズくんをお招きして、準備体操、MC、子どもたち対象の「山雅ハーフタイムショー」など、運動会を盛り上げていただきました。

今年も、玉入れ・借りもの競争・運が良ければ・山



▲白熱した「運が良ければ」



▲子どもたちの歌声がひとつに

雅ハーフトタイムショー・団体別リレー・番場節の全六種目と大幅に例年の種目を見直しました。
来年度も多くの皆さんが参加できるような企画を考えていきます。

⑤保小中合同音楽会開催
おみつこミュージックフェスティバル

十月十八日におみつこミュージックフェスティバルが筑北中学校を会場に開かれました。今年度から保育園、小学校、中学校の合同での開催となりました。これは村で進めている一貫教育における具体的な取り組みの一つとなります。

合唱では、担任のギター伴奏に合わせて大きな声で歌い会場を盛り上げました。保育園の発表では軽快な音楽に合わせてダンスを披露しました。

また中学生は混声合唱を見事に歌い上げ、各年齢に合わせた発表構成となりました。発表が終わる毎に大きな拍手が送られていました。

⑥住民票などのコンビニ交付始まる

十二月二十五日より、住民票などのコンビニ交付が始まりました。

住民票・印鑑登録証明書・所得証明書の三種類について、従来役場窓口開庁時間に来ていただく必要があった手続きが、コンビニで簡単にできるようになりました。

マイナンバーを読み取ることができるマルチコピー機などの機械が設置されているコンビニで発行が可能となります。
(詳細は十二月区長配布資料をご確認ください)

OMIGOTO おみごと ギャラリー

本町 峰田整至さん

仲間といっしょに
サウナを手作り

「サウナはサラリーマンの癒しだから」定年退職後その癒しの場所を自ら作ったのが本町の峰田整至さんです。場所は聖高原別荘地。ドイツトウヒが香り、あでやかなカエデを見下ろす一画です。

「もともとはテントサウナを置く場所を探してい



▲▼サウナ小屋全景と小屋内部



▲峰田整至さん

「サウナはサラリーマンの癒しだから」定年退職後その癒しの場所を自ら作ったのが本町の峰田整至さんです。場所は聖高原別荘地。ドイツトウヒが香り、あでやかなカエデを見下ろす一画です。

「もともとはテントサウナを置く場所を探してい

の職場の仲間たちの手を借り、昨年完成しました。木造の小屋には薪ストーブ。鉄なべに入れたみかげ石に水を掛けると蒸気があがり、室温は百度以上になります。区画を流れる小川からはドラム缶とヒノキおけに水をためた大自然の水風呂です。「軽井沢では絶対許可されないから」と笑顔で語ってくれました。

まだまだ拡張 大人の秘密基地

元同僚や村内の友人、サウナ仲間は十数人いるそうですが、取材当日も後輩三人と小屋と風呂をつなぐデッキ作りに励んでいた整至さんに「これで完成ですか？」と質問してみますと「いやいや、もっと広げたいんだ」とのこと。

この場所ですべてやってみて、い事が次々と浮かんで来ているようです。楽しみですね。

おみ「川元氣くらぶ」 『おやきづくり体験』

十二月二日に、小学生の休日を利用して活動しているおみっこ元氣くらぶでは、「麻績おやきの会」より三名の講師をお招きして、地域交流センターで児童十三名と保護者三名、信州大学の学生四名、計二十名が郷土食であるおやき作りを体験しました。

「わぁー、ベタベタしてくっついちゃう」という声があちこちで聞かれました。しかし、さらにこねるうちにまとまって、三十分ほどのベンチタイム後は生地が滑らかに変化しました。

打ち粉をして生地を丸く伸ばしてから、あんこ・野菜・切干大根の具を丁寧に包み、それぞれ十五分ほど蒸すと出来上がり。好きな具を一つ選んで試食をすると「お店のおやきみたいにできて美味しかった」「こねるのが難しかったけど、上手にできて良かった」と笑顔で答えていました。

昨年の秋に同くらぶでできた小麦「ゆめせいき」を六月下旬に収穫し、製粉して利用。小麦粉にベーキングパウダー、重曹、砂糖を混ぜて、少しづつ水を加えてこねると、はじめはまと

まりにくく「わぁー、ベタベタしてくっついちゃう」という声があちこちで聞かれました。しかし、さらにこねるうちにまとまって、三十分ほどのベンチタイム後は生地が滑らかに変化しました。



▲ふっくらおいしくできました

「ひだまり広場」 村長、利用者と懇談

十二月五日に、毎日子育てに奮闘している保護者が集う、「ひだまり広場」で塚原村長が利用者との懇談を行いました。

参加した保護者一人一人から、困っていることや、要望等普段感じていることなどを聞きました。



▲明るい未来は子育てから

内容は、「子育てに関する支援窓口の集約化をお願いしたい」、「休日などの居場所として児童館が欲しい」、「子どもを気軽に預かってもらえるような仕組みがあったらありがたい」等の要望が出ました。

これらの話を聞くことで、現状の課題やどのようなことを子育て支援に期待しているのか知る良い機会となりました。

感謝の気持ち伝える 「筑中地域奉仕活動」

十二月十九日に筑北中学校生徒が、自分たちが生まれ暮らしている「ふるさ

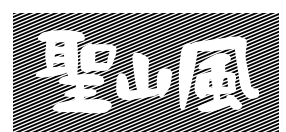
と」へ感謝の気持ちを伝えることを目的に、地域への奉仕作業を行いました。

作業場所は、麻績学舎、大和屋、みたらしの湯の三カ所で、それぞれに分かれて行いました。雑巾や箒を手にした生徒は一生懸命に清掃活動に取り組みました。麻績学舎へ来た生徒は、長い廊下をひたむきに端から端まで雑巾がけをしたり、窓ガラスの棧の一つ一つまで丁寧に拭いたりしていました。中学生のふるさとに対する思いが充分に感じられる奉仕作業となりました。

今回の活動に参加いただいた生徒の皆さんありがとうございました。



▲長い廊下も丹念に雑巾がけ



二〇二四年は「甲辰年」。十二支の中で唯一想像上の動物である竜(龍)は、雲雨を自在に支配する力を持つ

つとされ、昔から出世や権力に大きく関わる年といわれている。

辰年の過去を振り返ると明治以降、権力絡みだと戊辰・日露戦争が開戦。太平洋戦争は決断の年となっている。またロッキード事件・リクルート事件の贈収賄事件もあった。

折しも師走に、議員のパッケージ問題で家宅捜索が入り年明け早々に大きな事件に発展しそうである。

「甲」は、十干の第一にあたり、物事が始まることもとらえられ、新しいことを始めるのに良いとされている。

政治だけでなく、企業の不正問題など、悪しき慣習は一から見直され、出世(成長)していく年であつてと願う。

元気通信!!

～今月の小・中学校～

麻績小学校

「読書旬間の様子から」

十二月四日～十五日まで、読書旬間を行いました。今回は、学級・家族ぐるみで読書時間を確保すること、いろいろなジャンルの本を読み読書の幅を広げること

を狙って、実施しました。ふだんは生活の中に読書の時間がとれない児童もいましたが、旬間中はご家庭のご協力もあり、たくさん読むことができました。

また、高学年児童は低学年児童に読み語りを行いました。お話の楽しさを味わってもらえるように読み方を工夫して臨みました。読んでもらった低学年の児童は大喜び、絵本の世界を共有して楽しい



▲図書委員による紙芝居

時間となりました。

更に、図書委員による紙芝居上演会も開かれました。普段は大人がやるのを見る側でしたが、いざ自分達が演じるとなると難しかったようです。しかし、協力し合って演じることが出来、満足そうでした。

旬間が終わっても、静かな空間を作り本に親しむことができると素晴らしいですね。お子さんだけでなく子どももいます。是非、お家の方も一緒に読書時間を楽しんでいただけるとありがたいです。

筑北中学校

二学期を振り返って

一年 久保田唯斗
二学期では、自分は二つ



▲合同チームで練習

を頑張りました。一つ目は、筑北祭で行った筑北ソーラです。自分は今年初でしたが、上手になるコツやいろいろ考えて精一杯踊れたのでよかったです。二つ目は、勉強です。一学期と比べて授業が難しくなり、勉強の時間を増やしていきました。勉強や行事などを中心として三学期も頑張りたいです。

二学期を振り返って

一年 渡辺 遥陽

私はバレー部に入っています。大会に向けて練習を積み重ねました。延長部活や土日の練習で合同チームの人達とゲームをしたり、

レシーブを一緒にやったりしました。

普段の練習では二人しかいないけど、何度も挑戦したり、準備も二人で分担したりして頑張りました。二学期できなかつたことも三学期がんばります。

生徒会引き継ぎに向けて

二年 久保田恵太

私が、生徒会を引き継ぐにあたって頑張りたいことは、生徒会長が掲げた公約を実現できるようにサポートしていくことです。

全体の場では、自らが積極的に行動をして後輩の手本となり、全体が意見を出しやすい雰囲気を作っていくるようにしたいです。

そして今年の生徒会で起こされた革新を超える生徒会を目指して精一杯努力して、生徒会長が掲げた公約を実現できるようにしたいです。

生徒会引き継ぎを迎え

三年 飯森 咲太

三年生が生徒会を引き継いで一年が経ちました。私

は、今年一年、学習委員会の書記を担当しました。学習委員会は、図書当番やたくさんイベントを計画しました。準備が大変な委員会です。

どの委員会も三年の役員を中心に運営してきましたが、人数が少ない中での活動なので、役員だけでなく、会員がそれぞれの役割をもって生徒会活動に取り組んできました。

私が生徒会活動で学んだことは、自分から行動することです。自分で行動することによって、いろいろな経験をする事ができました。これが、私の「革新」でした。



▲「革新」から次の世代へ

相撲と麻績の事跡

(その二)

信濃国相撲役元について

江戸時代の中頃から「免許制度」の普及により「江戸相撲」が盛んになり、人気は信州にも及んだ。

江戸相撲の年寄・初代浦風林右衛門親政は、信濃の外十一ヶ国に自部屋を持っていた。

宝暦十二(一七六二)年長瀬村(上田市長瀬)の石尊の辻(土俵)を浦風の免許土俵とし、隠し稽古場(かくし道場)を併設し、明治二十八(一八九五)年まで一三三年にわたって、代々の浦風によって道場が営まれ、雷電為右衛門をはじめ多くの名力士が誕生している。浦風は、信濃国相撲役元・最手役・目代・取次を免許し、全信州の相撲支配権・免許権は浦風が持っていた。

麻績村に所蔵されている「相撲取免許」「土俵免許」をはじめ、信濃国全域の免

許は、この役元を経由したものと推考される。

信州各地の神社等で奉納相撲を催すには、浦風に伺いを立て、免許料・櫓太鼓料を納めたうえで許可されるならわしであったという。文化七(一八一〇)年には、三大浦風林右衛門は、信濃国一円の相撲免許改めを実施している。

天保十一(一八四〇)年には、北佐久郡耳取村に第二役元が置かれた。

明治二十九(一八九三)年、石尊の辻が依田川の氾濫により一部流出し、信濃国相撲役元は解散となった。

麻績宿の免許力士について

嘉永二(一八四九)年九月、木村庄之助利政が発給した「相撲免許証状」が本町林家に所蔵されている。宛名は、「信州筑摩郡麻績宿住・四阿山安右衛門殿」である。「四阿山」が醜名(しこな)であったと思われる。

江戸時代後期、麻績宿に力士が住んでいたのである。

免許の要旨は、「…免許を渡すが作法を守り、奉納相撲においては、不埒な行いや、無免許者との相撲、同宿同伴を禁止…」など厳しい内容である。

「四阿山」は、江戸相撲力士ではなく、信州の奉納・勧進相撲の力士であったと推考される。また、麻績神明宮専属の奉納相撲力士であり、麻績町村外七ヶ村及び筑北各村の神社の奉納相撲力士を招く役元であった可能性も示唆される。

土俵とは

土を詰めた俵のことであるが、力士が相撲をとる土俵場のことで通常「土俵」という。

広辞苑に掲載されている「土俵場」は下図の通りである。この図は、日本相撲協会公認の土俵場であると推考される。

江戸時代には、「免許土俵」という制度があった。

上井堀区所蔵の古文書に四本柱土俵の免許証状がある。

土俵の起源について

天正年間(一五七三〜一五九一)織田信長が、安土城築城。天正四年(一五七八)祝いに、祝賀行事の一つとして相撲を催した。この会場に円形の境界線を設けたのが土俵の起源だという。

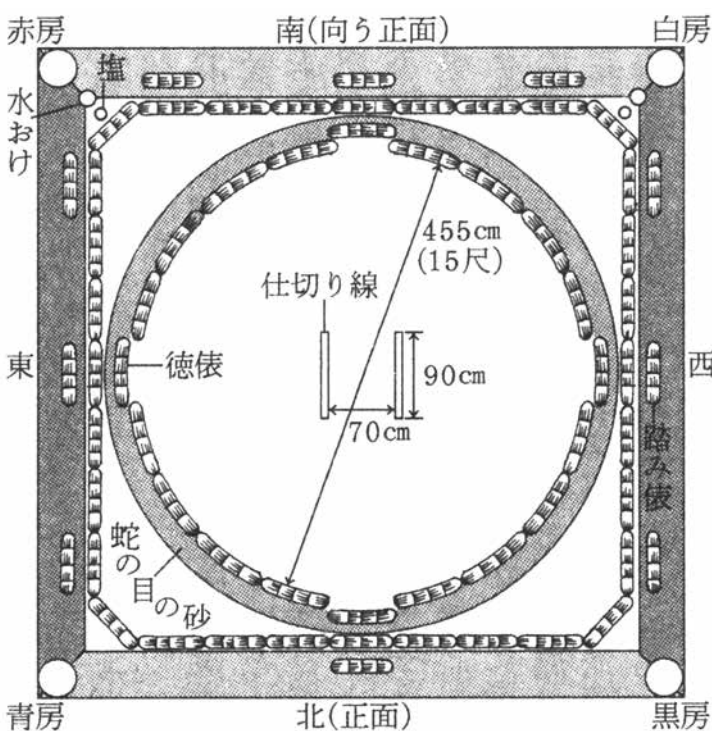
奈良時代の神亀五(七二八)年、朝廷の儀式として

始まったとされる相撲節会の土俵に関する史料は無い。現在のような土俵で、相撲が行われるようになったのは、「相撲の免許制(延享元(一七四四)年)」を布いた江戸時代中期頃とというのが定説である。

次号に続く

「寄稿」信濃史学会会員

飯森 忠幸



▲土俵場 (広辞苑第5版より引用)



発表！ おみ図書館
ベストリーダー

二〇二三年中におみ図書館でたくさん読まれた本を紹介します。

第一位

汝、星のごとく

凧良ゆう 著



講談社

二〇二三年度本屋大賞受賞作、人気です。

「こんなキツイ話になるとは正直思っていなかった」と作者自身が語るように、読むのが正直しんどい。

それでもこの物語から目が離せないのは、瀬戸内の島で出会い正解がない中でもがき選択していく主人公二人の姿が、美しいせいかもしれない。

第二位

月の立つ林で

青山美智子 著



ポプラ社

続編の「星を編む」(十一月の新着)も好評です。

第三位

ねことじいちゃん

ねこまき 著



KADOKAWA

第四位

リエゾン 1巻

ヨンチャン 原作



講談社

第五位

光のところにいてね

一穂ミチ 著



文藝春秋

第六位

川のほとりに立つ者は

寺地はるな 著



双葉社

第七位

102歳、一人暮らし。

石井哲代 著



文藝春秋

物事は良いほうに考える、喜びの表現は大きく。健康で長生きするための習慣や「うまいこと老いる」極意を紹介しています。

自分らしく心をご機嫌に保つヒントが満載の一冊です。

第八位

方舟

夕木春央 著



講談社

第九位

三千円の使い方

原田ひ香 著



中央公論新社

第十位

宙ごはん

町田そのこ 著



小学館

みんなで そだてる
12月のおみ図書館

11月貸し出し数	
貸出冊数一般	797冊
貸出冊数児童	1064冊
来館者数一般	375人
来館者数児童	975人

絵本部門

第一位

しゅっどう！
しょうぼうたい

鎌田 歩作・絵



金の星社

第二位

せんろをまもる！
ドクターイエロー

鎌田 歩作



小学館

第三位

くだものずかん

大森裕子 作



白泉社



障がい者の
人権について

公民館主事

十二月九日、青少年育成
村民運動推進大会並びに人
権教育指導者研修会を実施
しました。毎年人権週間に
合わせて実施しているもの
で、今年は松川村教育委員
会中村晃大さんをお迎えし、
「聴覚障がい者も世界に羽
ばたける」と題して講演を
していただきました。

中村さんは三歳ころ感応
性難聴（聴覚障がい）と認
定され、補聴器をつけて日
常生活をされているそうで
す。そのような中でも、ス
キーや陸上競技で世界に通
用する力を身に付けた方法
や心構えを講演いただきま



▲簡単な手話を勉強しました

した。

聴覚障がいを持っている
方は、見た目では判断しづ
らいこともあり、社会的に
理解が進んでいない現状や、
補聴器が万能のものではな
いことが語られ、簡単な手
話を学ぶこともできました。
さまざまなる人権課題の全
てを掘り下げていくことは
容易ではありませんが、公
民館では継続的に人権につ
いて考える機会を設け、笑
顔あふれる明るい村づくり
の一助となるよう取り組ん
でいきます。

放課後子ども教室
クリスマスツリーを
作ろう

放課後子ども教室では、



▲力作揃いのツリーたち

小学校の懇談会の期間を利
用して、十二月七日から十
二日までの四日間クリスマス
ツリーの共同制作を行いま
しました。
一年生から五年生までの
二十八名が五班に分かれて
どんなツリーにするかを自
由に話し合ってから制作に
とりかかりました。
はじめの二日間は、四年
生と五年生がリードしなが
ら段ボールを使つての土台
作りです。平面にしたり、
立体にしたり、両面にした
りといろんなアイデアが出
そろいました。段ボールを
折ったり、切ったり色画用
紙を貼ったり、フェルトペ
ンで色を塗ったりして土台

が完成しました。

後半は低学年の子たちも
頑張つて、モールや折り紙
で飾りを作ったり、サンタ
さんやブーツを作つて飾つ
たりして仕上げました。
ツリーはどれも素敵なか
ら作ぞろいで、地域交流セン
ターのロビーでツリーを見
に来た親子や来場者を華や
かに迎えていました。

ボードゲームの世界
〜第八回麻績学級〜

十二月十四日に第八回麻
績学級が行われました。今
回は、「ボードゲームを楽
しもう」と題して、長野市
でボードゲームカフェSU
BBOXを運営している滝
沢武士（たけお）氏をお迎
えし、世界中のボードゲー
ムを参加者の皆さんで体験
しました。

四人ずつの三つのグルー
プに分け、それぞれが滝沢
さんの選んだゲームで楽し
く体験していました。神経
衰弱に似ている「食べたの
だーれ」というゲームに参
加された方は、「思った以
上に熱中した。簡単だけど



▲楽しく真剣に脳トレ

奥が深いと感じた」と話
していました。

二時間という時間でした
が、参加された皆さんは談
笑しながらも、時に真剣な
表情で楽しんでいたので印
象に残りました。

村の
あめいしち

ご冥福を祈る

高橋	茂子	77歳	宮本
若松	國子	64歳	天王
青木	菊	89歳	市野川
宮下	齊	77歳	梶浦
木藤	ますえ	91歳	上町
青木	安子	72歳	下井堀
横路	きぬい	94歳	坊平
栗原	幸智	46歳	聖